



○ 草の根パートナー型

平成19年度第1回 採択内定案件

I. 提案事業の概要	
1. 国名	メキシコ
2. 事業名	口唇口蓋裂総合治療のための医療援助プロジェクト
3. 事業の背景と必要性	口唇裂、口蓋裂患者は哺乳障害、発音障害、咀嚼障害を伴う先天性疾患はメキシコ南部山岳地域の先住民（マヤ民族）では非常に高い発症率を有している。対象国に発生する先天性疾患のうちでも第4位に高い発生率を示すものの、対象地域においては専門医が存在せず、かつ地域的、経済的な理由から未治療のまま障害を抱えて生活している患者が非常に多く、社会参画への機会を失っている。大阪大学大学院歯学研究科は2000年より自己資金で、2004年からはJICA草の根技術協力事業（支援型）として医療援助プログラムを展開し、手術・治療の指導に当たってきた。しかし、手術担当医、手術後のリハビリ担当医、看護師、保健省としての対策など、広い分野での医療体制の不足が明らかとなってきた。このため、大阪大学大学院歯学研究科、カウンターパートである現地NGO団体（CLAYPA）の有する高い技術、知識をチアパス州およびベラクルス州の公的医療機関の人材に移転し、現地での治療センターを担う人材育成を図る必要性を訴える。
4. プロジェクト目標	口唇裂・口蓋裂患者に対し、総合的な医療を提供できる医療チーム（口腔外科医、言語療法士、看護師、矯正歯科医師、保健局人材）がチアパス及びベラクルス両州に各1チーム形成され、基本的な治療が提供できる。
5. 対象地域	メキシコ国チアパス州及びベラクルス州
6. 受益者層	対象2州先住民を中心とした口唇裂・口蓋裂患者
7. 期待される成果及び活動	<p>【成果】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 研修、指導を受けたメンバーが口唇裂・口蓋裂の基本治療と総合的治療を理解し、行える。 2. 地域の拠点病院が口唇口蓋裂治療センターとして患者に認識され、治療を受ける患者が増える。 3. 口唇裂、口蓋裂患者に適切な治療を施し、患者の障害の程度が回復する。 4. 疾患の発生数、要治療患者の実数が把握され、治療に対する啓蒙活動がなされる。 <p>【活動】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 対象2州の人材の本邦研修を通じた口唇口蓋裂治療技術の移転。 2. 活動拠点病院の口唇口蓋裂治療センター化と広報活動 3. ターゲットグループに対する医療援助活動とプロジェクト関係者への技術指導。 4. 州政府保健局およびヘルスワーカーによる疾患の把握
8. 実施期間	2008年4月～2011年3月（2年11ヵ月）
9. 事業費	50,000千円
10. 事業の実施体制	国内調整員はすべて大阪大学職員で構成される。プロジェクトマネージャーは、現地医療活動以外は国内業務を主体とし、プロジェクトの総括、研修受け入れ後の指導を行い、国内調整員がこれを補助する。1年間は現地調整員を派遣し、カウンターパートであるベラクルス州及びチアパス州保健局並びに現地業務補助を行う現地NGO団体（CLAYPA）と協力して、年4回の現地医療援助活動の日程調整、交渉、準備を行うとともに、プロジェクト期間中のべ15名の本邦研修者を選考に着手する。後半2年間は、現地で行うべき調整をCLAYPAに委ねる。年4回の現地医療援助活動、現地医療スタッフへのセミナー、啓蒙活動には毎回3名の専門家を大阪大学から派遣する。活動の報告、経理、には1名の国内調整員を設置する。
II. 応募団体の概要	
1. 団体名	国立大学法人 大阪大学大学院歯学研究科
2. 活動内容	大学教育および研究、医療サービスの提供